

事件の概要

岡崎市中央図書館のホームページに集中アクセスして他の人が閲覧することを困難にしたという容疑で、逮捕・拘留された人がいたという事件があった。

彼は図書館の新着図書情報を自動収集するために自作のプログラムを作った。

図書館は頻繁にサーバーダウンするので、システム管理会社に相談したが、解決できなかったので、警察に被害届を出したところ、このような事件になった。

何が問題となったか

- 図書館側のITに関する知識の欠如
- 客観的に物事を見ずに、言われたことを鵜呑みにした
- 図書館側がインターネットの客を軽視して、ちゃんとした段階を踏まずに警察に通報した

教訓・残された課題

- 一般人のITに関する知識が欠如しすぎているので、それを解決しなければならない
- 未知のものに関しての対応が下手すぎたので、未知のものに遭遇しても落ち着いて対処すべき